

## 産業廃棄物処理計画書

令和 3年 6月 24日

和歌山県知事

殿

## 提出者

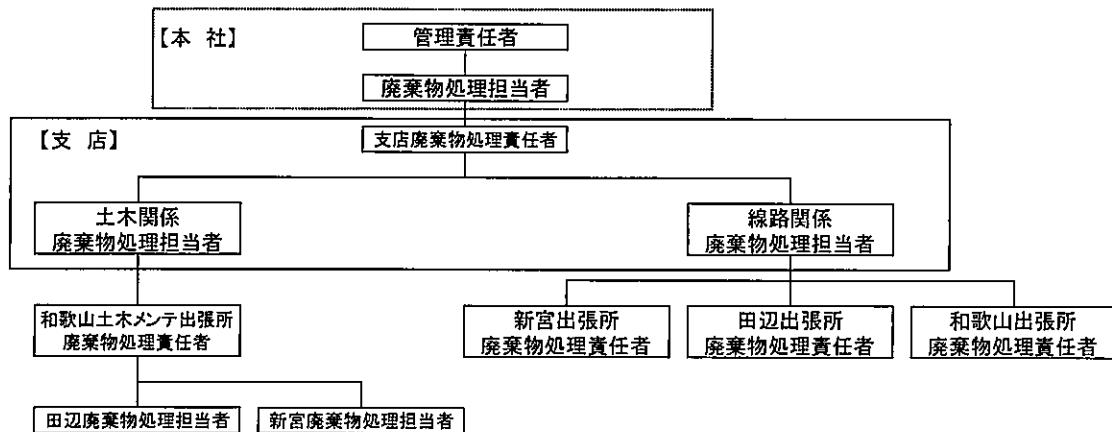
住所 和歌山市美園町5丁目61番  
 氏名 大鉄工業株式会社 和歌山支店  
     執行役員支店長 村田 英明  
 電話番号 073-432-6436

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大鉄工業株式会社 和歌山支店
事業場の所在地	和歌山市美園町5丁目61番地
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	6. 総合工事業
②事業の規模	元請け完成工事高 31億円
③従業員数	80名 (令和3年6月1日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR     A[現場から排出] --&gt; B[収集運搬業者]     B --&gt; C[収集運搬]     C --&gt; D[中間処理]     D --&gt; E[リサイクル]     D --&gt; F[最終処分]     G[自社運搬] --&gt; D     H[破碎] --&gt; D     I[燃え殻] --&gt; F   </pre> <p>The flowchart illustrates the waste processing workflow. It starts with '現場から排出' (Waste generated on-site) leading to '収集運搬業者' (Collection and Transportation Operator). This leads to '収集運搬' (Collection and Transportation), which then leads to '中間処理' (Intermediate Treatment). From '中間処理', the path splits: one arrow goes to 'リサイクル' (Recycling), another to '最終処分' (Final Disposal), and a third is labeled '破碎' (Crushing). Additionally, there is a direct path from '自社運搬' (In-house Transportation) to '中間処理', and another path from '破碎' to '中間処理'.</p>

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和2年度）実績】		
産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
排 出 量	5,895 t	t

## ① 現状

(これまでに実施した取組)

産業廃棄物の発生抑制に向け、施主と施工法について検討を行ったが、工事量の受注高も多く、廃棄物や増加した廃棄物などがあり、十分な結果に至らなかった。

## ② 計画

(今後実施する予定の取組)

これまでに実施した取組を継続する。

## 産業廃棄物の分別に関する事項

## ① 現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

がれき類、木くず、金属くず、廃プラスチック類、建設混合廃棄物の分別保管を実施。

## ② 計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

これまでに実施した取組を継続する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和2年度）実績】			
① 現状	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 実施していない			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
② 計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら再生利用は行わない。（再生処理業社に委託）		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和2年度）実績】			
① 現状	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行わない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
② 計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
② 計画	(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理は行わない。		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和2年度）実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
② 計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和2年度）実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	5,895 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	764 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	5,895 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 産業廃棄物適正処理チェック表を作成し、適正処理されているかの 確認を行い。産業廃棄物の適正処理に向け、環境パトロールを実施 している。			

【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
②計画	全処理委託量	3,895 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) これまでに実施した取組みを継続する。 電子マニフェストの導入を進めるために、電子マニフェスト対応可能な運搬業者及び処理業者から選択する。			
※事務処理欄			

## 産業廃棄物 处理計画報告書 別紙 (実績値:令和2年度 目標値:令和3年度)

計画期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日